

完全復興へ

そして

強い町へ

——皆さまと、心を一つに——

益城町長 西村博則

このたびの熊本地震でお亡くなりになった方々のご冥福を深くお祈り申し上げます。

また、ご遺族のみなさまに心よりお悔やみ申し上げます。

そして、現在も不自由な生活を余儀なくされる町民の皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。

4月14日午後9時26分。28時間後の16日午前1時25分。最大震度7の大地震は、二度も私たちの町を痛めつけました。

「一体なぜ、益城町がこんなことに…」

破壊された町の姿を突きつけられ、どこにも持っていさよのない怒りと絶望感に襲われました。

崩壊した家の前に呆然と立ちすくむ人たちの姿、地震の恐怖におびえる子どもたちの顔…。季節は被災前と同じ春だというのに、私たちの心は冬枯れのように暗く、冷たく、凍り付いたままでした。

それでも人間は、計り知れない「再生の力」を持っている、ということにも気づかされたのです。

どんなに悲惨な状況にあっても、緑が芽吹くように、徐々に人々に笑顔が宿り、大地をしつかりと踏みしめ、歩き出す力が湧いてきたではありませんか。

そのとき私は、「この町はさつと、どこにも類をみない強

い町に生まれ変われる」と確信しました。

今、町は一丸となって、国や県との連携のもと、完全復興を目指して前進しております。皆さまお一人お一人の声に心を寄せ、生活再建を第一に災害に強いまちづくり等を実現し、併せて、政府への要望活動をこれから先も粘り強く続けてまいります。

「負けとられん！」

「どぎゃんかする！」

皆さまと心を一つにし、益城町を強い町に蘇らせることを、ここにお約束します。

完全復興に向かって、全身全霊、全力で取り組んでまいります。